

共通言語「やさしい日本語」のシンボルマークを高校生がデザイン

外国籍の方による投票で缶バッジデザインを選定！！

「やさしい日本語」がコミュニケーションを図るうえで共通言語として非常に有効です。

そこで、「やさしい日本語」を市民に周知・啓発していくためのツールとして、「やさしい日本語」のシンボルマークを缶バッジにしました。

缶バッジデザインを古賀竟成館高等学校（ベーシックデザインコース）の生徒に依頼したところ、8人の生徒がデザインを提案。8つのデザインの中から、企業に協力をいただき、技能実習生等、外国籍の方の投票で缶バッジにするデザインを1つ選定しました。

※「やさしい日本語」とは・・・

相手に伝わるように難しい言葉を使わず平易な言葉を使う日本語です。外国籍の方とはもちろん、外国籍の方同士も、そして高齢者の方、障がいをもった方、子どもたちなど日本人にも、みんなに分かりやすくうれしい言葉。そんな思いやりの言葉が「やさしい日本語」です。

■事業の経緯と目的

本市の住民基本台帳に記載される外国人は年々増加し、多国籍の人が市内で暮らしています。生活をするうえで、コミュニケーションは非常に重要ですが、外国籍の人とは英語でしゃべらないといけないという先入観を持った人が多いです。しかし実際は、本市の外国籍市民の9割がアジア圏の方です。非英語圏の方は、英語よりも日本語を希望されることが多く、分かりやすく言い換えた「やさしい日本語」が有効であることが分かっています。そのため、市民が「やさしい日本語」を知り興味を持ってもらうために、若い高校生の柔軟な発想と感性を活かした、親しみやすい缶バッジを制作しました。缶バッジは、「やさしい日本語」周知・啓発事業の一環で、市内の行事等で配布していきます。

■デザイン制作者

古賀竟成館高校（ベーシックデザインコース） 8人（2年生6人、3年生2人）

■制作期間及びスケジュール

制作期間：5月7日（金）～6月11日（金）

4月26日（月）16：50～ キックオフミーティング（事業概要説明、メンバー決定）

5月 7日（金）16：20～ 第1回訪問日（素案、下書きなど ※質問・相談受付）

6月 1日（火）17：00～ 第2回訪問日（イラストレーターでデザインなど制作）

6月11日（金） 市への提出期限日

■デザイン選定者

外国籍の方 200人程度（外国人を雇用している市内企業11社に協力依頼）

6月16日（水）～25日（金）缶バッジデザイン選定投票

■デザイン選定方法

A2用紙に8デザインを表示し、好きなデザインの箇所にシールを貼ってもらう。

最も多くシールを獲得したデザインを缶バッジデザインに決定。

■缶バッジデザイン選定結果発表会 《参加者は招待制》

日時：7月16日（金）18：00～19：00

会場：リーパスプラザこが交流館 1階103洋室 古賀市中央2丁目13-1

【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係

担当：飯尾・洪田

電話：092-942-1165